通風筒の閉鎖装置に関する事項

改正規則等

鋼船規則 C 編及び CS 編
高速船規則
鋼船規則検査要領 C 編及び CS 編

改正事項

通風筒の閉鎖装置に関する事項

改正理由

国際満載喫水線条約（以下、LL 条約）の附属書 I 第 19 規則においては、波の打ち込み等による浸水を防ぐため、通風筒の開口に風雨密の閉鎖装置を備える旨規定されている。ただし、通風筒の縁材の高さが、設置される甲板の位置及び高さに応じた十分なものである場合には、当該閉鎖装置を省略できる旨規定されており、同規則は既に本会規則にも取り入れられている。

上記規定を適用するにあたり、LL 条約においては、通風筒等の設置位置の分類として定義されている位置 I 及び位置 II に基づいて必要な通風筒の縁材の高さを規定している。一方、本会規則においては、当該規定に基づき通風筒の設置位置を具体的に規定しているものの、一部の船首部船楼甲板における通風筒の縁材の高さに関する記述が不明確となっていた。

今般、通風筒の設置位置を LL 条約の表現に合わせて位置 I 及び位置 II に基づき規定することでより明確な記述とすべく、関連規定を改めた。

改正内容

乾舷甲板及び船楼甲板の暴露部における通風筒の縁材の甲板上面上の高さに関する規定について、通風筒の設置位置を位置 I 及び位置 II に基づき規定するよう改めた。

（備考）通風筒等の設置位置の分類（鋼船規則 C 編 20.1.2 等）

- 位置 I 乾舷甲板及び低船尾楼甲板の暴露部並びに L_f の前端から $0.25L_f$ の箇所より前方にある船楼甲板の暴露部
- 位置 II L_f の前端から $0.25L_f$ の箇所より後方にあり乾舷甲板より標準船楼高さ 1 層分以上上方に位置する船楼甲板の暴露部、又は、 L_f の前端から $0.25L_f$ の箇所より前方にあり乾舷甲板より標準船楼高さ 2 層分以上上方に位置する船楼甲板の暴露部